



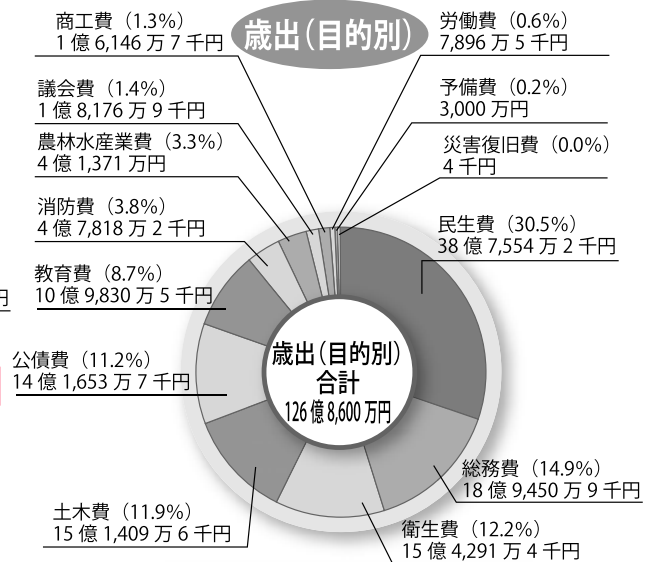
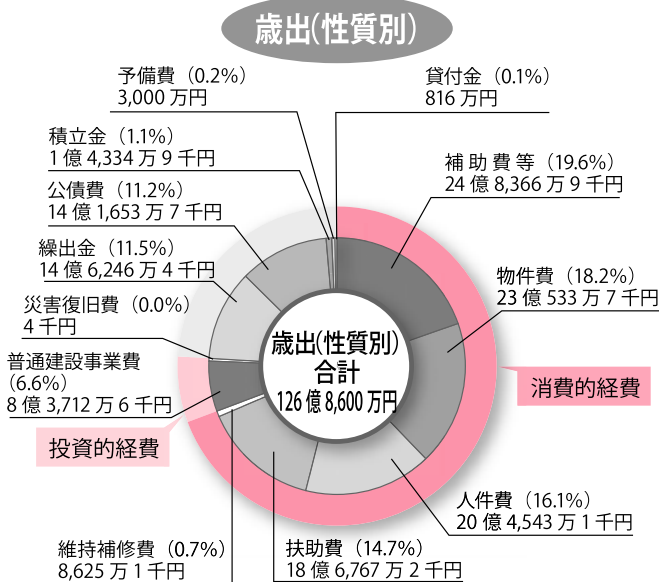
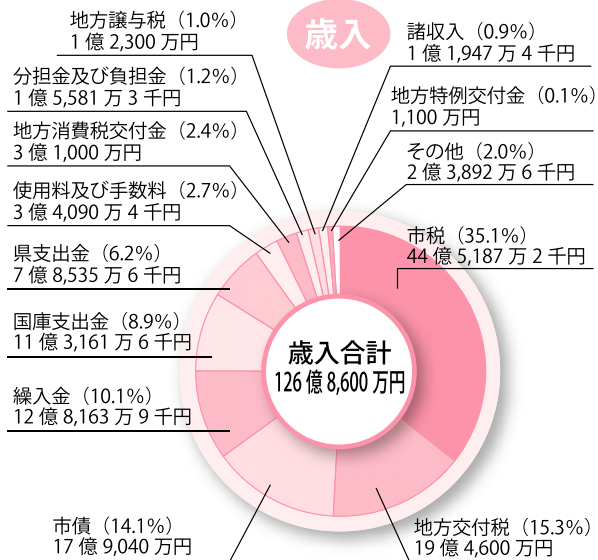
平成24年度予算ここに重点

※（ ）内は予算額

平成24年度当初予算と各種施策

市民協働による
まちづくり

平成24年度予算が、市議会3月定例会で議決されました。
一般会計予算総額は126億8千6百万円で、昨年度と比べ、
1・0パーセントの増加となりました。大手製造企業の主要生産
機能の移転に伴う法人市民税の大幅な減収により、厳しい財政状
況が見込まれるところですが、喫緊の課題である減災力の強いま
ちづくりなどの諸課題に的確に対処し、「子育て」、「安全・安心」、
「快適環境」、「魅力アップ」など「第六次長期総合計画」を指針
とした重点テーマに即した予算編成を行い、市民協働によるまち
づくりの推進に積極的に取り組んでいきます。以下、予算の主な
内容についてご紹介します。





将来を担う子どもを
のびのび育むまちづくり

子育て

一時預かり施設の
開設（拡充）

市民交流センター3階の
子育て支援センター内に一
時預かりルーム「ニコリキッ
ズ」を開設し、安心して子育
てができる環境の充実を図
ります。



保育園へのエアコン及び
AED設置（新規）

夏季の高温対策として、
荏崎東・荏崎西・藤井保育園
の保育室にエアコンを設置
するとともに、園児の緊急
事態に備え、全園にAED
を設置し、安全で快適な保
育環境の整備を図ります。

（6、865千円）

教育

小中学校への
エアコン設置（新規）

小中学校の未設置教室へ
エアコンを新たに設置し、
児童生徒の健康面への配慮
と年間を通じた快適な学習
環境づくりを推進します。
（285、187千円・H
23繰越予算）

小中学校校庭の整備
（新規）

甘利小学校校庭の季節風
による砂埃の飛散防止のため
の土壌改良と東西中学校校
庭の降雨時の排水対策として
側溝改修等を行い、快適な学
習環境づくりを推進します。
（35、516千円）



	予算額（千円）
1 子ども医療費助成事業	109,369
2 ひとり親家庭医療費助成事業	15,832
3 地域子育て支援センター運営事業	20,053
4 児童センター運営事業	32,282
5 児童扶養手当施行事業	132,327
6 子どものための手当施行事業	528,570
7 母子保健事業	30,344
8 保育所運営事業	304,207
9 病児病後児保育事業	2,750
10 私立幼稚園奨励補助事業	23,241
11 小中学校運営事業	89,118
12 小中学校施設管理事業	81,877
13 小中学校教育振興事業	59,234
14 育英奨学金貸付事業	8,160

健康

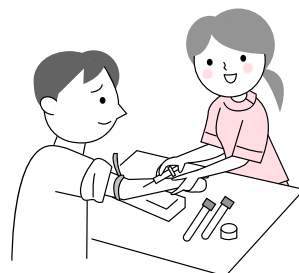
健康診査（人間ドック）
受診環境の向上（拡充）

35歳から69歳までの国保加
入者が受診する人間ドック
の公費助成額を拡大（男性
10,000円→23,000
円・女性15,000円→
28,000円）し、受診しや
すい環境づくりを通じた市民の

誰もが安心して暮らせる
まちづくり

健康保持を図ります。

（9、966千円・国保会計）



	予算額（千円）
1 予防接種事業	54,312
2 健康診査事業	67,160
3 子宮頸がん等ワクチン接種事業	33,392
4 みんなで支える地域福祉推進事業	18,716
5 老人保護措置事業	73,437
6 重度心身障害者医療費助成事業	116,711
7 障害者自立支援事業	513,236
8 峡北広域行政事務組合負担金（常備消防）	335,499
9 消防団運営事業	53,920
10 消防ポンプ自動車整備事業	16,920
11 災害対策事業	51,117
12 生活保護施行事業	292,579
13 砂防総務費	3,045
14 緊急雇用対策事業	65,982
※ 荏崎市立病院運営事業費	2,694,380
※ 国民健康保険運営事業費	3,366,255
※ 後期高齢者医療保険運営事業費	266,991
※ 介護保険運営事業費	2,177,967

※印は、特別会計・企業会計です。





防災・減災

災害対策本部機能の強化と 災害備蓄品の充実（新規）

新たな「荊崎市地域防災計画」に基づき、衛星携帯電話の整備をはじめ簡易組立トイレ、非常用保存水、発電機などの防災資機材、備蓄物資の充実を図り、防災体制を強化します。
(15,449千円)

減災力の強いまちづくり の推進（新規）

NPO法人と協働で「地域防災・減災リーダー」を育成、地域住民主体による避難所運営、食糧確保訓練を実施し、

雇用

雇用機会の拡大、市内企業 の雇用を支援（継続）

自主防災組織の強化を図ります。また、防災・減災パンフレットの全戸配布や出前塾等により防災・減災意識の普及啓発を図り、家庭・地域・事業者が一体となった「減災力の強いまちづくり」を推進します。
(2,231千円)

土砂災害ハザードマップ の作成（新規）

洪水避難地図及び指定避難地（所）を重ねたハザードマップを全戸配布し、土砂災害発生の危険区域の周知による被害の軽減と避難体制の確立を図ります。
(3,045千円)

厳しい経済、雇用情勢が続くなか、市による直接雇用と民間事業者への委託による緊急雇用対策を実施するとともに、就職が困難な若年求職者を雇用する市内の「新卒者就職実現プロジェクト」対象企業に対する助成と企業者が従業員に支払う休業手当に対する市独自の助成制度を延長し、雇用の継続拡大を図ります。
(65,982千円)

心地よい定住環境のある まちづくり

環境

エコライフの普及促進 （拡充）

住宅への太陽光発電システム設置に伴う助成額を一律5万円から出力1kwあたり2万円に拡充するとともに、電気自動車購入者に対し新たに2万円の助成を創設し、

循環型社会の促進を図ります。
(8,520千円)

住環境

住宅リフォーム補助制度 の創設（新規）

新たに市内業者が施工する

公園

観音山公園の整備 （継続）

市民会館解体後の七里石の

上水道

水道基幹管路の耐震化の 推進（拡充）

送水管等の基幹管路の計画的な耐震化を推進し、病院等の災害拠点への水道水の安定供給や消火栓等防災水利の確保など、災害時に備えたライフラインの整備を図ります。

安全対策として法面保護工事を行うとともに、新たな市民の憩いの場の創出に向けて、公園整備の測量・設計を進めます。
(67,935千円)

公共交通

高齢交通弱者に対する モデル事業実施（新規）

昨年度、実施したデマンドバス試験運行に替え、新たに三之蔵・日之城地区の70歳以上の方を対象に、タクシー利用券を交付するモデル事業を実施し、公共交通空白地区における高齢交通弱者の移動支援を検討していきます。
(1,748千円)

(134,000千円…水道事業会計)

予算額（千円）

1 環境衛生事業	6,489
2 廃棄物処理対策事業	61,048
3 峡北広域行政事務組合負担金（ごみ・し尿処理）	602,599
4 エコライフ普及促進事業	8,520
5 市営住宅・定住促進住宅管理事業	88,205
6 住宅リフォーム促進事業	10,000
7 荊崎駅前広場改修事業	1,331
8 観音山公園整備事業	67,935
9 市民バス委託運行事業	40,234
10 高齢交通弱者支援モデル事業	1,748
11 市道（荊崎）1号線道路整備事業	109,076
12 市道（荊崎）9号線交差点改良事業	47,966
13 市道（藤井）6号線道路整備事業	10,010
14 堀切橋拡幅整備事業	9,282
※ 上水道事業	1,340,790
※ 公共下水道事業	1,410,067

※印は、特別会計・企業会計です。



道路

市道整備の推進

(継続)

市民交流センターのオープ
ンに伴い、歩行者の安全確保
と交通事故防止を目的とする
施設北側の交差点拡幅に着手
するとともに、長年、狭あい
部分が懸案であった富士見ヶ
丘地区へのアクセス道路拡幅
に着手します。また、通行車
両の増大や経年劣化により舗
装・路肩の損傷がみられる旧
塩川幹線道路を年次計画で整
備します。

(167,052千円)

堀切橋の拡幅整備
(新規)

国道52号と甲西バイパスを
結ぶ市道に架かり、近年交通
量が著しく増加している堀切
橋の拡幅・耐震補強工事に向
け概略設計に着手します。

(9,282千円)



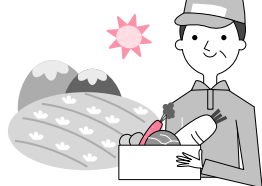
魅力あふれるまちづくり

農林業

新規就農者に対する支援
(拡充)

新たに認定就農者となった
方が、市内に圃場を確保し、
農業で生計を維持するうえで
借家の賃借料の助成等の生活
支援を行い、新規就農者が定
着しやすい環境づくりを進め
ます。

(8,460千円)

円野・清哲・神山地区の農
業生産基盤の整備 (新規)

県による中山間地域(円野・
清哲・神山)の農業生産基盤
と生活環境基盤の一体的な整
備に向け、各地区でのワーク

ショップの成果と現地調査に
基づく活性化計画の作成を地
元の合意形成を図りながら県
と連携して進めます。

(100千円)

竜岡地区の農業生産基盤
の整備 (新規)

竜岡地区(エコパーク竜岡
から国道52号まで)の農地
55haの圃場の区画整理、道水
路の総合的な整備に向け、換
地計画概要書の作成を地元並
びに県と協議しながら進めま
す。

(1,666千円)

商業

のれんのあるまちづくり
事業 (継続)

昨年度、まちなかの商店街
の店舗に掲出した「のれん」
を眺めながら歩いて店のスタ
ンプを集めてまわるスタンブ
ラリー「のれんでビンゴ」を

開催し、商店主と買物客の新
たなふれあいの機会を通じて
賑わいのある商店街の活性化
を図ります。

(1,281千円)



予算額 (千円)

1 県営畑地帯総合土地改良事業	56,874
2 県営農業生産基盤整備事業 (竜岡地区)	1,666
3 新規就農者支援事業	8,460
4 松くい虫防除事業	26,569
5 まちなか活性化推進事業	12,313
6 中小企業振興資金融資事業	4,391
7 企業誘致促進事業	7,385
8 観光施設管理事業	12,138
9 ヒルクライム荏利山大会開催事業	1,000
10 市立図書館管理運営事業	57,996
11 穂坂体育施設管理運営事業	4,717
12 文化ホール管理運営事業	92,800
13 美術館管理運営事業	22,365
14 史跡新府城跡環境整備事業	16,938

「ふれ愛商品券」第四弾発行（継続）

『荊崎消費拡大キャンペーン』と題して、一昨年以来消費者をはじめ市内商工業者の皆さまから好評をいただいている「ふれ愛商品券」を、市内販売店と共同で7千セツト・総額7千7百万円分発行し、地元消費の拡大と地域経済の活性化を図ります。
(5,600千円)

経営支援

市内中小企業に対する融資助成（継続）

制度融資資金に対する利子補給と山梨県信用保証協会の保証料に対する市独自の助成制度を延長し、市内中小企業の経営支援を図ります。
(4,391千円)

観光

観光地への誘導標識・観光看板の設置（新規）

市内の観光スポットに統一観のある景観にも配慮したわ

かりやすい誘導標識と観光看板を設置し、魅力ある観光地づくりとイメージアップを図ります。
(8,593千円)

ヒルクライム荊崎甘利山大会の開催（新規）

本市を代表する観光地・甘

人が集う交流のあるまちづくり

国際交流

アメリカ合衆国フェアフィールド市との親善使節団の相互訪問

昨年、東日本大震災への対応から延期となった姉妹都市締結40周年記念事業を再開し、5月に親善使節団を派遣するとともに、10月には使節団を迎え、市民レベルでのさらなる相互理解と友好を深めます。
(6,808千円)

利山の新たな魅力を創出し、全国にPRするイベントとして、甘利山入口から山頂まで自転車で駆け上がるヒルクライム大会を民間大手企業と共催し、本市の知名度アップと年間を通じた集客につなげていきます。
(1,000千円)

予算額（千円）

1 市民交流センター管理運営事業	83,816
2 文書管理事業	27,518
3 広聴広報事業	14,112
4 事務事業外部評価実施事業	181
5 男女共同参画社会づくり事業	1,979
6 地区活動推進事業	23,909
7 国際交流事業	9,753

荊崎市住宅リフォーム補助制度が創設されました

市では、住環境の向上・地域経済の活性化を図るため、住宅リフォームの実施に対し、費用の一部を助成します。対象となる住宅・費用・業者・申請日等で該当にならない場合があります。工事着手前に必ずご相談ください。

■対象住宅

- ・市内にある居住の用に供する建築物
- ・自ら所有する家屋で、現在居住の個人住宅
- ・個人住宅部分と事務所・店舗・賃貸住宅等が一体となった併用住宅

※併用住宅は、工事金額を按分して個人住宅部分の工事金額が20万円以上のものである。

■対象工事

- ・市内に住所を有す施工業者による工事（施工業者は登録が必要です）
- ・住宅の機能の維持及び向上のための工事で、工事金額が20万円以上のもの

・昭和56年5月31日以前に着工した木造在来工法住宅は、同時に耐震工事を行う

■補助金額

- ・リフォーム費用の10分の1（千円未満切り捨て）で10万円を上限とする
- ・耐震改修＋住宅リフォームを行ったものは20万円を上限とする
- ※住宅リフォーム補助以外の補助を受けたものは対象外

◆耐震診断・耐震改修住宅

◇木造住宅耐震診断

昭和56年5月31日以前に着工した木造在来工法住宅は耐震診断が無料で受けられます。

◇耐震改修対象住宅

・耐震診断の結果、耐震不足が指摘された住宅の「改修」に対し、60万～80万円の補助を行います。

・耐震診断の結果、耐震不足が指摘された住宅の「耐震シェルター設置」に対し、24万円の補助を行います。

※耐震化建替は、平成23年度で終了いたしました。

■お問い合わせ

建設課建築営繕担当

（内線243）